

## \*ツーリズム演習(Aクラス)

授業科目	*ツーリズム演習(Aクラス)				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期				
担当教員	池口 功晃										
授業概要	観光を取り巻く人々の行動や社会の仕組みを捉えた社会科学としての観光学とはどのような学問なのでしょうか。この授業ではプレゼンテーションを通じてツーリズムについて幅広く学ぶことにより、学生自身が観光学とはどのような学問であるかを説明できるようになります。										
授業形態	講義	授業方法	本授業はプレゼンテーションを取り入れている。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 観光の歴史について説明することができる。</li> <li>2. 観光と産業の関わりについて説明することができる。</li> <li>3. 観光政策について説明することができる。</li> <li>4. 観光と地域の関わりについて説明することができる。</li> <li>5. ニューツーリズムについて説明することができる。</li> </ol>										
理想的レベル	授業で習得した知識を卒業研究や観光フィールドワークに生かすことができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)			備考							
試験											
小テスト											
レポート	50%										
発表(口頭、プレゼンテーション)	50%										
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	T012101J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
該当部分の復習										1	
授業計画											
第1回	オリエンテーション										
第2回	ツーリズムに関するプレゼンテーション(1)Aグループ(観光の国際化と大衆化)										
第3回	ツーリズムに関するプレゼンテーション(2)Bグループ(旅行者行動と観光対象)										
第4回	ツーリズムに関するプレゼンテーション(3)Cグループ(観光と経済、観光統計)										
第5回	ツーリズムに関するプレゼンテーション(4)Dグループ(旅行産業の現状と展望)										
第6回	ツーリズムに関するプレゼンテーション(5)Eグループ(宿泊産業と運輸産業)										
第7回	ツーリズムに関するプレゼンテーション(6)Fグループ(テーマパーク産業と文化施設)										

\*ツーリズム演習(Aクラス)

第8回	ツーリズムに関するプレゼンテーション(7) Gグループ(観光産業とホスピタリティ)
第9回	ツーリズムに関するプレゼンテーション(8) Hグループ(観光立国と国際観光)
第10回	ツーリズムに関するプレゼンテーション(9) Iグループ(諸外国の観光政策)
第11回	ツーリズムに関するプレゼンテーション(10) Jグループ(まちづくり、コンテンツツーリズム)
第12回	ツーリズムに関するプレゼンテーション(11) Kグループ(ブライダルと観光)
第13回	ツーリズムに関するプレゼンテーション(12) Lグループ(メディカルツーリズム、ダークツーリズム)
第14回	ツーリズムに関するプレゼンテーション(13) Mグループ(フードツーリズム)
第15回	ツーリズムに関するプレゼンテーション(14) Nグループ(祭礼文化と観光)
テキスト	竹内正人・竹内利江・山田浩之『入門観光学』ミネルヴァ書房, 2018年
参考図書・教材 /データ ベース・ 雑誌等の 紹介	島川崇『新しい時代の観光学概論』ミネルヴァ書房, 2020年
課題に対する フィードバック の方法	プレゼンテーションについては、発表後のコメントを通してフィードバックをおこなう。
学生への メッセージ・ コメント	「観光学入門」を履修しておくことが望ましい。 積極的な態度で授業に参加することを期待します。